

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ぼんぼこはうすelmo		公表日		令和7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	仕切りなど使用し、臨機応変なスペース作りをしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		利用人数によって配慮が必要である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		室内には段差がなく、階段には手すりがついている	幼児用手洗い場・幼児用トイレマット等、色分けで活動場所を示す	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	日々の清掃を欠かさず、午睡で使用した布団カバー・毛布等は毎日洗濯している	子どもによって足の裏が汚れている時がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		仕切られた部屋があり、クールダウンや体調不良の際に対応できる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		困りごとが起きた際、PDCAサイクルを活用したミーティングを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日頃より、保護者と話す機会を大切に、いただいた意見や要望は職員間で共有し改善策を話し合っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		担当委員会が主になり行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	法人内の他事業所や、企業主導型保育園の職員に評価をお願いしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修への参加、委員会での職員の発表する場を設けている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月、Instagramと紙面でお知らせしている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		定期的にモニタリングを行い、アセスメントの見直しや計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		モニタリング内容に加え、日々の変化や様子など、細かく報告相談することで最善に計画書を作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画内容を職員間で共有するとともに、いつでも見返せるよう事業所に設置することで、不明点はすぐに話し合っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		事業所ないでの子どもの気づき等について、ミーティング等により職員間で共有し、適切な状況判断ができるよう努めている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個々の支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を記載できるよう配慮している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		定期ミーティングや職員間でのコミュニケーションを通じてアイデアを募り、プログラムに関して話し合っており決めている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		個々の発達状況に合わせて考え、ルーティン化しているものを除き、子どもが興味を持つように考え、問題点があれば都度話し合っている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動・集団活動それぞれにおいて目標を明確にし、支援するよう心がけている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		職員の退勤時間が異なるため、翌営業日までには、全職員に伝達できるよう努めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務日誌を活用している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		業務日誌を活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		担当者会議が実施される	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議が実施される際は、児童発達支援管理責任者および、担当職員が対応している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		各行政や、相談支援事業所等と連携し、支援を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者からの要望や、必要に応じて対応している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者を通じて相互理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて助言をいただき、支援に生かせるよう努めている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	日々のお散歩や公園あそび等で関わりがある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に支援状況について共有したり、園や家庭での様子や課題などを教えてもらっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		個々にサポート・助言を行っている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用契約時に口頭で説明し、その後不明点があればいつでも説明できるようにしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		定期的なモニタリングに加え、日頃から家族との関わりを大切にし、最善に支援計画作成を目指している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		モニタリングの際、今後の支援計画について保護者と話し合い、説明し、サインをいただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		定期モニタリングとは別に、送迎時等で情報共有し、必要があれば別途対応するよう努めている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		検討中である
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		電話やライン等で相談に応じ、苦情要望があれば迅速に職員間で共有し改善策を講じている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		週に一度の配信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		施錠できる保管場所に管理している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		必要に応じて絵カードを用いたり、個々の状況に合わせて伝達情報を工夫している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		検討中である
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		ホームページ・インスタグラム等で発信し、定期的な訓練を行い、反省点は改善できるよう努めている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		防災委員会指揮のもと、定期的に防災訓練を行っており、当日参加できなかった職員には後日共有している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時や、連絡帳等で保護者から連絡をいただき、職員間で情報共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在、アレルギーのある児童はいないが、要望があれば対応できる	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全対策委員会指揮のもと、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう発信があり、情報共有し、実践されている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		利用契約時に説明し、不明点があれば個別に対応している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		些細なことも迅速に共有するように努め、様々な視点から改善策を提案し、改善に努めている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会指揮のもと、年2回の研修を実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		前後に保護者・管理者に報告・確認する		